

4-2. <指標から読み取れる成果と課題>

積極的に文化財調査をおこなったことにより、成果報告の講演会等の開催回数を増やすことができたことにより、吉野歴史資料館利用者数（講演会等含む）は目標数値を上回ることができました。講演会等への参加者は高齢者が多く、この世代が地域への関心が高く学習ニーズやボランティア等への参加意識が高いと考えられます。その一方で、働く世代や若年層の参加が少ないことから、町の歴史や文化について周知啓発することによって、目標値をさらに上回ることが可能となると考えられます。

また、国・県・町の指定・登録・選定文化財は適正に管理されており、文化財数も微増となっています。

5. <施策全体の方針>

指定文化財だけでなく、未指定文化財についても調査を行い指定や活用ができる状態にし、国・県と情報を共有して保全・保護・活用を進めます。特に、活用については史跡宮滝遺跡の整備を重点的に進めます。また、公開講演会、歴史講座等の開催については、町民に十分周知（資料館たよりの発行、町ホームページ・チラシ等）を行い、これまで参加したことのない住民に対しても、分かり易く気軽に参加できる内容とするため、タイムリーなテーマを選定します。

6. <施策を構成する事業の成果と課題（全体／主な取り組み）>

No	主な取組内容	
	世界遺産の保全に取り組みます。	
1	成果	構成資産である吉野山の金峯山寺を中心に、構成文化財の保全に努めました。また、重要文化財の吉水神社書院の屋根の修復が完了しました。
	課題	町民に対して今まで以上に世界遺産の保全の必要性について周知する必要があります。
	次年度及び中長期的な今後の方針	登録後5年毎に保全状況を世界遺産委員会に報告し、再審査を受ける必要があるため、構成文化財関係団体だけでなく、ふるさと教育を通じて町民にも保全についての認識を高めるように努めます。
No	吉野山の桜を保護します。	
2	成果	吉野山桜の学校の実証実験を支援し、桜の健全な育成に努めました。
	課題	実証実験を通じて、土壌改良の必要性などの新しい課題が提示されており、増大するコストへの対応が課題です。
	次年度及び中長期的な今後の方針	桜樹林管理手引書に基づき計画的に実証試験等を行い、樹木医等専門家の意見を反映させた取組を確実に実施できるよう支援を行います。
No	文化財の調査と保護を推進します。	
3	成果	重文吉水神社書院等の文化財保存修理を完了し、史跡宮滝遺跡については整備のために発掘調査を行い新しい成果（柱列の確認）を得ることができました。
	課題	発掘調査をする継続する必要がありますが、その財源確保等が必要です。
	次年度及び中長期的な今後の方針	文化財の保存修理及び宮滝遺跡整備については、県、国と連携し、計画的に推進するとともに、従来からの補助金以外にも財源を求められるよう検討します。
No	「吉野学」の取り組みの一環として、吉野の歴史や文化の情報発信を推進します。	
4	成果	歴史資料館開催の講演会等は、目標回数を上回る実績をあげることができました。
	課題	働く世代や若年層が興味を持つような講座内容や周知方法を検討する必要があります。
	次年度及び中長期的な今後の方針	多世代を通して吉野の歴史や伝統文化を知り、郷土愛を育むために、情報や資料の提供を今まで以上に行ないます。また、地域の歴史、伝統文化を保存継承する担い手の育成に努めます。
No	文化財を活用した地域活性化等を関係機関と連携して推進します。	
5	成果	世界遺産吉野大峯活性化事業実行委員会と連携して、世界遺産吉野大峯の記録映像を作成しました。
	課題	地域の文化遺産を地域の活性化に繋げることが必要です。また、自治協議会においては、文化財を活用するために行政との連携が必要です。
	次年度及び中長期的な今後の方針	関係機関と連携して、地域の文化財もとにしたツール（記録映像、冊子など）を制作します。また、地域の文化財を活用できる人材として語り部を育成していきます。
No	主な取組内容	
6	成果	
	課題	
	次年度及び中長期的な今後の方針	

7. <施策を構成する事業>

金額：単位（千円）

事業NO.	主な取組NO.	事業名 ／担当課等／会計 【転記】	経費区分	事務事業評価【転記】			施策評価							
				H28 (決算)	H29 (現予算)	総合評価	H30年度方針			短期的		中期的		補足事項 (優先度の考え方、各事務事業の方向性)
							優先	方向性	予算	予算	人件費	予算	人件費	
40	2	その他特定目的基金積立金（吉野桜寄附） 教育委員会 一般	直接事業費	4,272	9,050	B 課題が少しあり業務の一部見直しが必要	B	成果向上・費用維持 ≡ 生産性向上	8,000	→	→	→	→	☆文化財保存事業 ・蔵王堂の仁王門の改修工事、は、大規模工事となるため事業支援や財源確保について十分に留意すること。 ☆吉野万葉整備活用事業 ・宮滝整備について、発掘の成果を基に順次計画策定する。【基本計画（2年）・実施計画（1年）・実施設計（1年）】
			関与人件費	792	792				792					
			うち一般財源	0	0				0					
41	1.3.5	文化財保存事業 教育委員会 一般	直接事業費	5,325	3,183	A 業務の内容は適切である	◎	A	6,000	↗	→	↗	→	
			関与人件費	3,777	3,815				3,998					
			うち一般財源	8,763	6,659				9,998					
42	2	桜のまち構想事業 教育委員会 一般	直接事業費	9,083	9,047	A 業務の内容は適切である		D	8,000	→	→	→	→	
			関与人件費	2,345	1,980				1,980					
			うち一般財源	2,345	1,980				1,980					
43	3	吉野万葉整備活用事業 教育委員会 一般	直接事業費	5,087	5,066	A 業務の内容は適切である	◎	D	5,734	→	→	↗	→	
			関与人件費	5,385	5,385				5,385					
			うち一般財源	6,403	5,134				7,392					
44	3.4.5	歴史資料館管理運営事業 教育委員会 一般	直接事業費	4,915	3,495	B 課題が少しあり業務の一部見直しが必要		B	3,500	→	→	→	→	
			関与人件費	3,168	3,168				3,168					
			うち一般財源	7,505	5,850				5,868					
			直接事業費											
			関与人件費											
			うち一般財源											
			直接事業費											
			関与人件費											
			うち一般財源											
			直接事業費											
			関与人件費											
			うち一般財源											
			直接事業費											
			関与人件費											
			うち一般財源											
			直接事業費											
			関与人件費											
			うち一般財源											
			直接事業費											
			関与人件費											
			うち一般財源											
			直接事業費											
			関与人件費											
			うち一般財源											
施策コスト 合計			直接事業費 ①	28,682	29,841				31,234					
			関与人件費 ②	15,467	15,140				15,323					
			総費用 ③(①+②)	44,149	44,981				46,557					
			うち一般財源	25,016	19,623				25,238					
			関与人数 (人)	1.95	1.91				1.93					